



●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

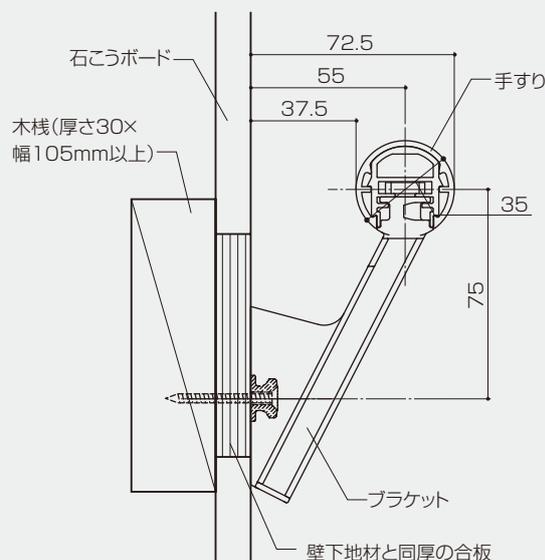
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 手すり脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ブラケット取付け用の木棧(厚さ30mm×幅105mm以上)か間柱を使用し、壁下地材と同厚の合板を取付けてください。石こうボードの下地材に直接ブラケットを取付けることは、強度不足のためしないでください。
- ・木棧は柱又は間柱に固定してください。
- ・金具の壁への固定・手すりの取付けには必ず同梱のねじを使用してください。
- ・フレキシブルジョイントを使用する場合は、フレキシブルジョイントの端部より80mm以内にブラケットを取付け、さらにブラケットから1000mm以内にもう1つブラケットを取付けてください。
- ・手すりはがたつきがないようにフレキシブルジョイント、エンドエルボの奥まで差込んで固定してください。

■壁付け用



■取付け上のおお願い

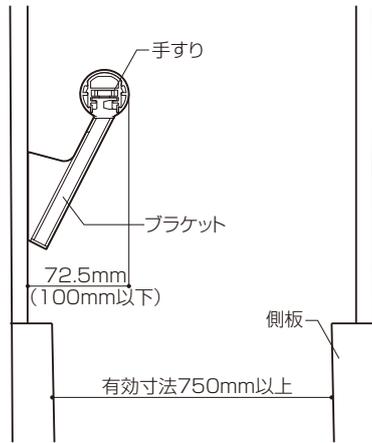
- 当製品は室内用です。水がかかったり極端に高湿なところでは、手すりのシートが剥がれたりするため、使用しないでください。
- 木棧を取付ける場合は、使用される方の手すり高さ(踏板の先から手すり上端まで)に合うよう、検討して取付けてください。
- 納品時に、各部材を必ず検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、キズを付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- クロスを張る際、手すりを着脱する場合は、必ず手すりを着脱する人にこの取付け説明書をお渡してください。
- 手すりは金属用切断機などで切断し、切断面は必ず垂直にしてください。下記の金具がまっすぐに取付けられなくなったり、着脱できなくなったり、取付け強度不足の原因になります。

【該当部品】…フレキシブルジョイント・エンドエルボ

■手すりの設置位置

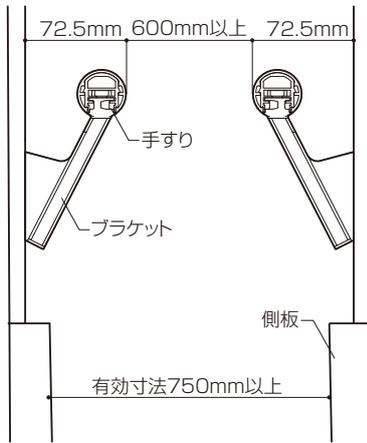
①片側に手すりを設置する場合

※手すりの幅が100mm以内であれば、階段有効幅に関係しません。

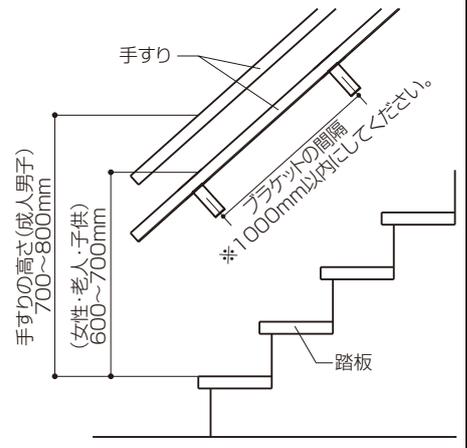


②両側に手すりを設置する場合

※手すりの突端間が600mm以上必要となります。



③手すりの高さ位置



■部品・部材の明細

手すり	ブラケット壁付用	フレキシブルジョイント	エンドエルボ
<p>※同梱…取付け説明書(1部)</p>	<p>※同梱…皿タップピン先割れねじ φ4×50(3本) 座金付きねじ φ4×50(1本)</p>	<p>使用可能範囲 90°~180°</p>	

■取付け手順

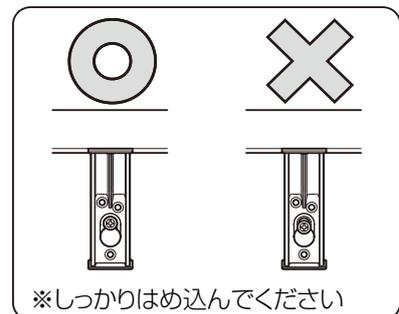
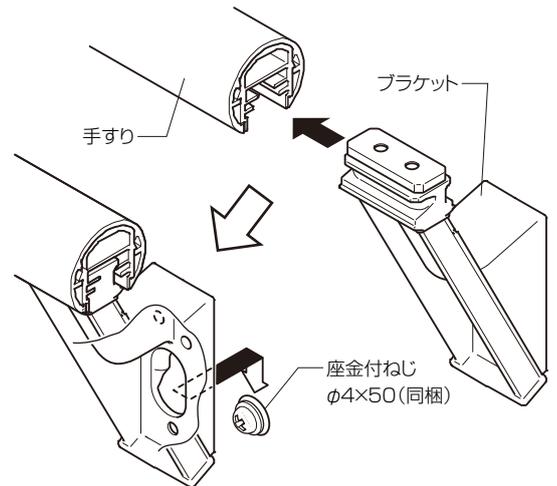
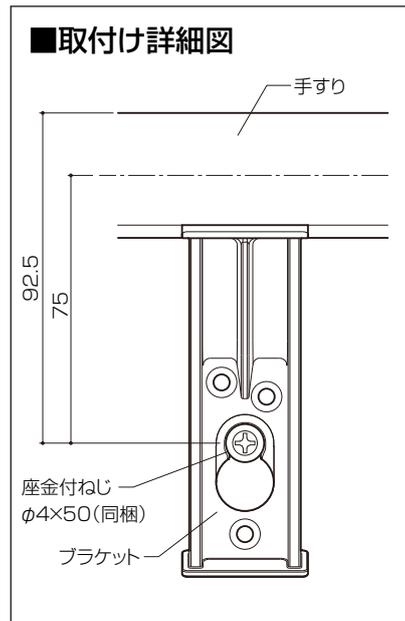
- 1 ブラケット・手すりの取付け
- 2 ブラケットの着脱
- 3 フレキシブルジョイントの取付け
- 4 フレキシブルジョイントの着脱
- 5 エンドエルボの取付け
- 6 手すり下カバー材の取付け
- 7 施工後の確認

1 ブラケット・手すりの取付け

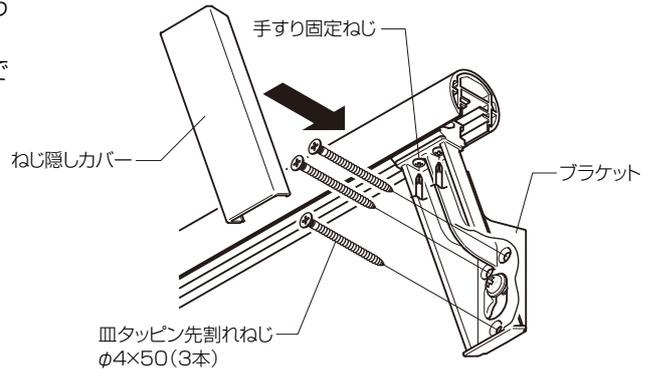
- ①実際の使用に合わせ、手すりの設置高さを決めます。
- ②手すり設置高さより、ブラケットの高さを決めます。
- ③下地材・接続部材・手すり長さより、ブラケットの横位置を決めます。
- ④同梱の座金付きねじφ4×50(1本)を位置出した壁に取付けます。
※締め過ぎるとブラケットが落とし込みにくくなります。
- ⑤手すりの側面からブラケットをスライドさせ挿入します。
- ⑥壁に取付けた座金付きねじにブラケットを落とし込んでください。

■取付け詳細

■取付け詳細図



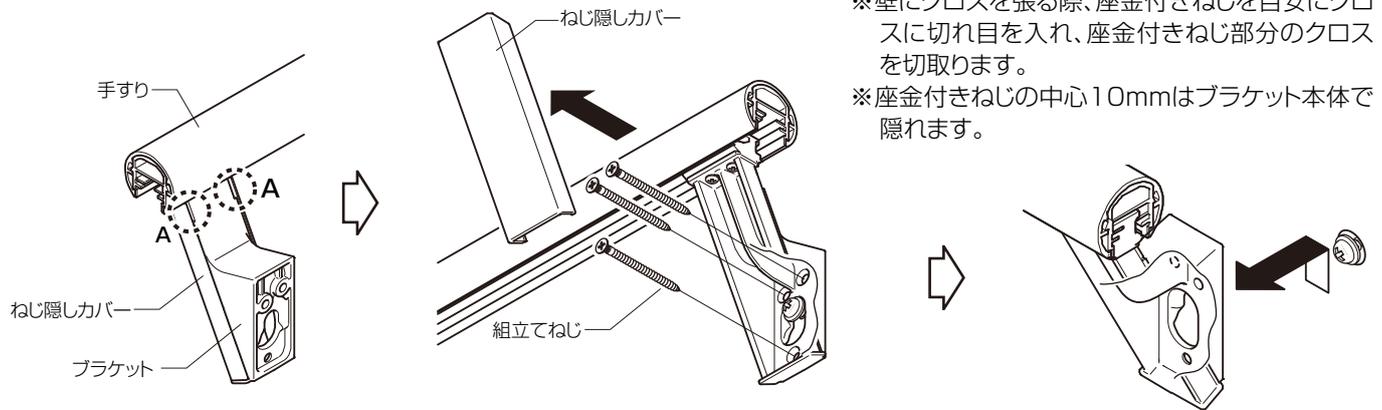
- ⑦ ブラケットの手すり固定ねじを締め込み(2本)、手すりが動かないように固定してください。
- ⑧ 本固定する場合は同梱の皿タッピン先割れねじφ4×50(3本)で固定し、座金付きねじを増し締めしてください。
- ⑨ ねじ隠しカバーをブラケット本体にはめこみます。



2 ブラケットの着脱

■ 取外し方法

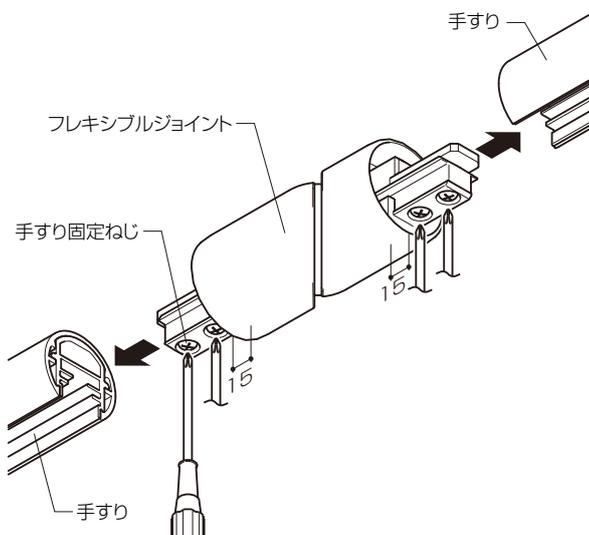
- ① ねじ隠しカバーを取外します。
※ 下図Aの凹部にマイナスドライバーを差込み、ひねると容易に外せます。
- ② 組立てねじをドライバーで取外します。
- ③ 手すり全体を手前にまっすぐ上に持ち上げてから、手前に引いて外します。クロス張付け後は、座金付きねじに合せて、ブラケット本体を差込みます。



※ 壁にクロスを張る際、座金付きねじを目安にクロスに切れ目を入れ、座金付きねじ部分のクロスを切り取ります。
※ 座金付きねじの中心10mmはブラケット本体で隠れます。

3 フレキシブルジョイントの取付け

- ① フレキシブルジョイントの差込み口に手すりが15mm入ること、又、壁から手すり中心までの距離が55mmとなることを見込んで、手すりを切断します。
- ② 手すりの側面からフレキシブルジョイントをスライドさせて、手すり固定ねじを締め込み(2本)、手すりが動かないように固定してください。
- ③ もう片側の手すりの側面からフレキシブルジョイントをスライドさせて、ねじを締め込み(2本)、手すりが動かないように固定してください。
- ④ 手すりの設置角度・取付け済のブラケットに合わせ、フレキシブルジョイントを動かして位置を合わせます。

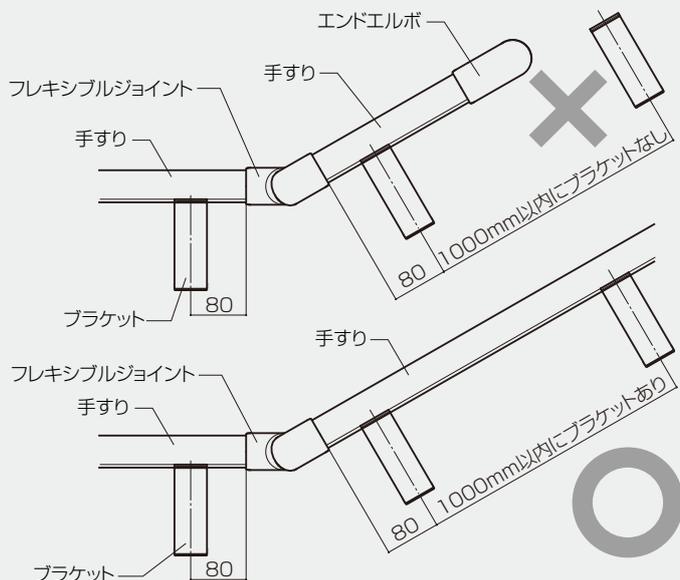


▲ 注意

- 手すりを、フレキシブルジョイントの奥まで差込んで固定してください。

▲ 注意

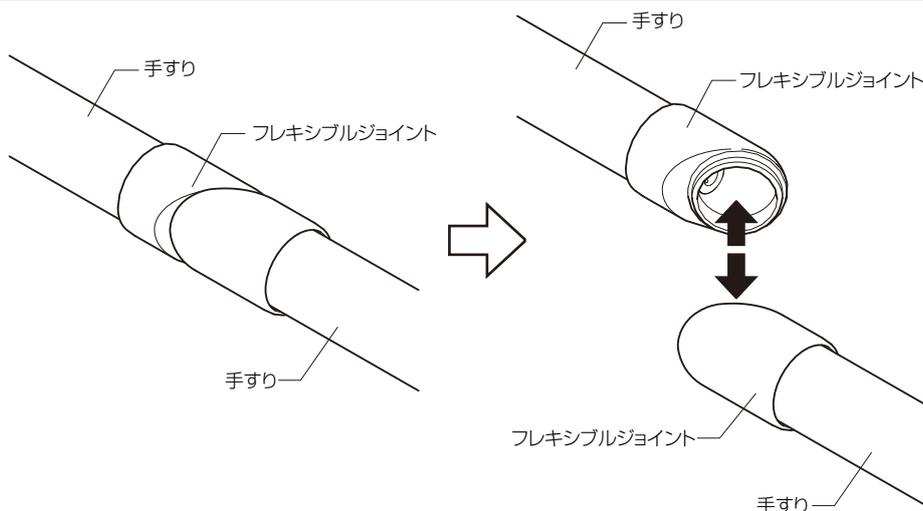
- フレキシブルジョイントの端部より80mm以内の位置にブラケットを取付け、さらにブラケットから1000mm以内の位置にもう一つ、ブラケットを取付けてください。



4 フレキシブルジョイントの着脱

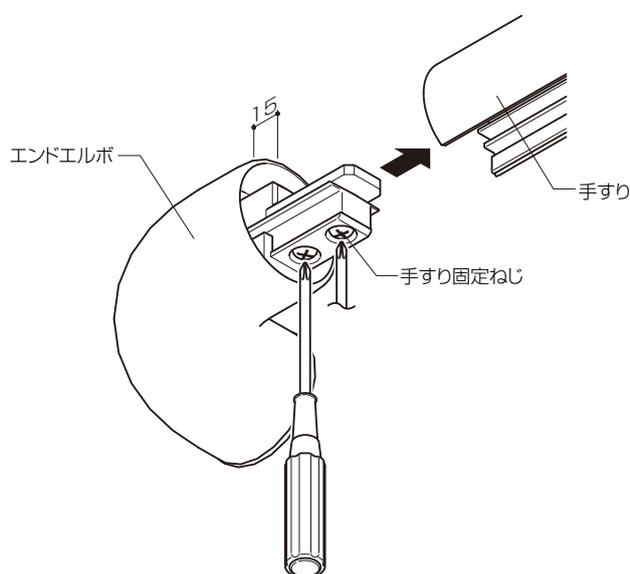
■取外し方法

- ①フレキシブルジョイント同士は特にねじ止めなどで固定はしておりませんので、ブラケットの着脱手順に従い手すりを外すとフレキシブルジョイントも外れます。
(ブラケットの着脱はブラケットの着脱手順に従ってください。)



5 エンドエルボの取付け

- ①エンドエルボの差込み口に手すりが15mm入るのを見込んで、手すりを切断します。
- ②手すりの側面からエンドエルボをスライドさせて、手すり固定ねじを締め込み(2本)、手すりが動かないように固定してください。
- ③壁とすき間がある場合は、壁側端部カバー材を動かしてすき間がないように調整してください。

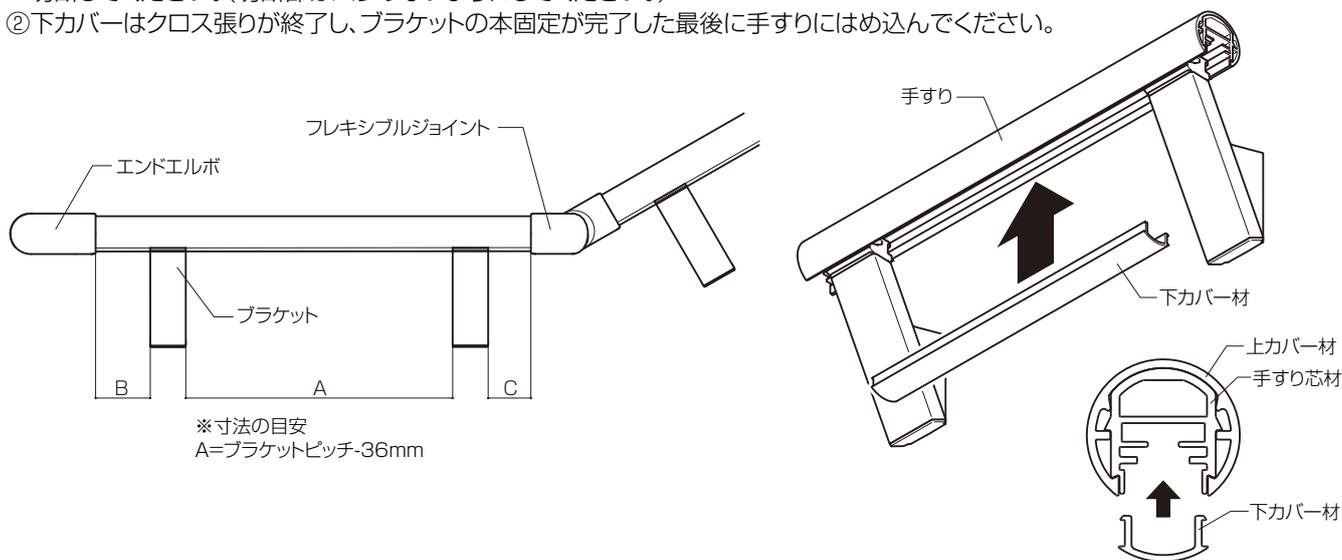


▲ 注意

- 手すりを、エンドエルボの奥まで差込んで固定してください。

6 手すり下カバー材の取付け

- ①ブラケット間(A)、ブラケットとフレキシブルジョイント間(B)、ブラケットとエンドエルボ間(C)の内寸法を測定し手すり下カバー材を切断してください。(切断部はバリのないようにしてください。)
- ②下カバーはクロス張りが終了し、ブラケットの本固定が完了した最後に手すりにはめ込んでください。



※寸法の目安
A=ブラケットピッチ-36mm

7 施工後の確認

- 取付け完了後、取付けねじのゆるみがないか確認してください。
- 取付け完了後、手すりをゆすってガタツキのないことを確認してください。